

ディスカッションカード作りのため、話し合う生徒たち＝半田中



災害から72時間どう動く？

半田中生、カードゲームで学ぶ

災害発生から七十二時間に起きるべきことを想定したカードゲーム「B72」を用いた授業が十一日、半田市半田中であった。一年生が年間を通じて学んできた防災学習の一環。「災害時は何ができるか」を考えたもう一つ、災害時に起こり得る課題を話し合った。

「B72」は、日本福祉大教員が開発した防災教育ゲーム。「ゆっくりとした揺れがきた」など全三十六枚のカードを三分に一枚ずつ引いていくことで、災害後の三日間を七十二分間で疑

似体験できる。

カード内容を自由に変えられるのも特徴。午後二時四十六分に黙とうした後、生徒たちは班ごとに話し合い、「避難所に向かっていく道がふさがって進めない。どうする?」「見つけた避難所はペット禁止。どうする? 他の避難者の気持ちも考えよう」といったカードを提案していた。

生徒のアイデアを盛り込んだB72は、四月に入学する新一年生の防災教育の中でプレーする。今後は「なぜこのカードを作ったか」という解説動画を撮り、新一年生のプレー後に見てもらうという。この学習を担当した教員の

は「災害時、中学生は助ける側。有事の際も地域住民として動けるよう、学びを通じて考えてもらえた」と話していた。

(高田みのり)